

## 鹿背山里山学校閉校あいさし

みもろつく鹿背山里山学校の閉校にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年春の開校以来、早いもので、もう閉校を迎えることになりました。

まずもって、参加者のみなさまには、一年間お疲れさまでした。

鹿背山の里山は、農的利用や薪に利用すると言った里山としての営みが減少したことで、荒廃が進んだ現状を目の当たりにされたと思います。

併せて、皆さんを指導してくださった里山団体による里山活動が、かつての里山の景観を取り戻して来たことも感じて戴けたと思います。

この里山学校は、住宅地の近くに里山があるのに、里山遊びをすることが少なくなったこの時代、子どもたちに里山に興味をもってもらいたいとの思いから開校いたしました。里山作業や収穫体験など一年をとおして活動された感想はいかがだったでしょうか。

ここでの活動体験が、達成感・実感に満たされ、今後の里山活動参加のきっかけになれば、主催者としてこの上ない喜びでございます。

あとになりましたが、活動団体の皆様方の、日頃の活動に敬意を表するとともに、里山学校の受講生に愛情を持ってご指導を戴きましたことに、心より感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

「不怕慢 只怕站」の言葉がございしますが、

市としても、その歩みは遅くとも、歩みを止めることなく、里山再生に取り組んで参りますので、引き続きご支援とご協力をよろし

くお願い申し上げます。

本日、修了証を手になされましたみなさんには、修了証にもあったように、これからも楽しく里山活動を続けて戴きまして、鹿背山の里山再生の担い手として活躍されますことを切にお願いいたします。閉校に際しての「あいさつ」といいたします。

平成二十九年三月十二日

木津川市長 河井 規子